

平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月1日 東

上場会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 上場取引所
 コード番号 4927 URL <http://www.po-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 郷史
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務担当 (氏名) 久米 直喜 (TEL) 03-3563-5517
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 平成28年9月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	106,957	7.2	12,150	31.5	11,258	16.4	8,264	35.7
27年12月期第2四半期	99,783	4.0	9,239	10.9	9,673	20.3	6,090	64.6

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 4,182百万円(△9.9%) 27年12月期第2四半期 4,642百万円(14.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	149.48	149.28
27年12月期第2四半期	110.17	110.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第2四半期	223,667	180,421	80.5	3,255.97
27年12月期	235,734	180,635	76.5	3,260.00

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 180,015百万円 27年12月期 180,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	70.00	—	80.00	150.00
28年12月期	—	90.00			
28年12月期(予想)			—	110.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	223,000	3.8	26,000	15.5	25,300	13.2	17,200	22.0	311.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年12月期2Q	57,284,039株	27年12月期	57,284,039株
28年12月期2Q	1,996,110株	27年12月期	1,996,110株
28年12月期2Q	55,287,929株	27年12月期2Q	55,285,706株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年1月1日～平成28年6月30日）におけるわが国の経済は、雇用情勢や企業収益の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いており、今後もこの傾向が継続するものと期待されます。ただし、海外経済や金融資本市場変動による影響が懸念されます。

国内化粧品市場においては、訪日観光客のインバウンド消費の伸張に陰りが見られるものの、スキンケア品を中心に堅調に推移しております。なお、インバウンド消費を除く市場規模は前年並みとなっております。海外化粧品市場においては、中国を始めとするアジア新興国の経済成長に鈍化がみられるものの、緩やかな拡大傾向が続いております。

このような市場環境のもと、3ヶ年中期経営計画（平成26年から平成28年）の最終年である今年度は、国内の更なる収益基盤強化と海外展開の加速、資本効率改善による企業価値向上を達成すべく、取り組みを進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、基幹ブランドであるPOLAブランドや、育成ブランドであるTHREEブランド及びdecenciaブランドの好調により、前年同期比7.2%増の106,957百万円となりました。営業利益は売上高増による売上総利益増加により前年同期比31.5%増の12,150百万円、経常利益は前年同期比16.4%増の11,258百万円となりました。以上の結果に加え、固定資産譲渡による特別利益を計上しましたが、法人税等の増加により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比35.7%増の8,264百万円となりました。

[業績の概要]

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	99,783	106,957	7,173	7.2
営業利益	9,239	12,150	2,910	31.5
経常利益	9,673	11,258	1,584	16.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,090	8,264	2,174	35.7

〔セグメント別の業績〕

売上高（外部顧客への売上高）

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	93,133	99,343	6,209	6.7
不動産事業	1,451	1,517	65	4.5
その他	5,197	6,096	898	17.3
合計	99,783	106,957	7,173	7.2

セグメント利益又は損失（△）（営業利益又は損失（△））

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	8,675	12,080	3,404	39.2
不動産事業	597	797	200	33.5
その他	72	△335	△407	—
セグメント利益の調整額 (注)	△106	△392	△285	—
合計	9,239	12,150	2,910	31.5

(注) セグメント利益の調整額とは、グループの内部取引に伴う利益及びセグメントに含まれない経費などを連結時に消去・加算した金額であります。なお、セグメント利益の調整額の詳細につきましては、P.11～12「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報（注2）」をご覧ください。

（ビューティケア事業）

ビューティケア事業は、基幹ブランドとして「POLA」「ORBIS」を、海外ブランドとして「Jurlique」「H2O PLUS」を、育成ブランドとして「pdc」「FUTURE LABO」「decencia」「ORLANE」「THREE」を展開しております。

POLAブランドでは、長期的な安定成長を果たすべく、ブランディングの刷新、プロフェッショナルなビューティディレクター育成に向けた販売手数料体系の変更や教育投資を行っております。国内市場においては、日中用クリーム「B.A プロテクター」の3月発売や、エステメニューの4月フルリニューアル等、積極的な新製品発売や販売促進によりお客さま数が順調に増加したことに加え、訪日観光客によるインバウンド売上が美容健康食品や化粧品で拡大したことにより、好調に推移しております。海外市場においては、香港市場を除き全体として厳しい業績となっております。以上の結果、POLAブランドは前年同期を上回る売上高となりました。

ORBISブランドでは、ブランド進化による更なる成長と収益向上を目指し、ブランド発信の強化、SNSを活用したお客さま獲得と2回目購入率の向上に取り組んでおります。国内市場においては、美白とエイジングケアを実現する「ORBIS=U WHITE」シリーズを3月に発売したことに加え、ポイント施策やSNSを活用したコミュニケーションの強化を行うことで、お客さま数が増加しております。一方営業利益は、国内事業におけるポイント費用の効率低下により、前年同期を下回る結果となりました。海外市場においては、中国・シンガポールで好調に売上成長し、前年同期を上回る結果となりました。以上の結果、ORBISブランドは前年同期を上回る売上高となりました。

海外ブランドについては、成長ドライバーであるアジアを中心とした高成長維持と収益貢献の実現に向けた取り組みを行っております。Jurliqueブランドは、豪州市場では前年並みで推移しておりますが、香港市場において厳しい状況が続いております。また、中国市場において3月より直営店販売から代理店販売に変更した影響を受けて、売上高は前年同期を下回っております。H2O PLUSブランドは、再成長に向けたブランドリステージに取り組んでいるものの、中国での不採算店舗閉鎖による売上減少の影響を受け、売上高は前年同期を下回っております。以上の結果、海外ブランドは前年同期を下回る売上高となりました。

育成ブランドについては、THREEブランドやdecenciaブランドの好調により、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は99,343百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は12,080百万円（前年同期比39.2%増）となりました。

（不動産事業）

不動産事業では、都市部のオフィスビル賃貸を中心に、魅力的なオフィス環境の整備による賃料の維持向上と空室率の低下に取り組むとともに、子育て支援に特化した賃貸マンション事業も展開しております。当第2四半期連結累計期間は、市況や他社状況を勘案した入居条件の見直しや、ビルの価値向上に向けた取り組みを行うことで、テナント稼働率や坪単価が上昇し、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は1,517百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は797百万円（前年同期比33.5%増）となりました。

（その他）

その他に含まれている事業は、医薬品事業及びビルメンテナンス事業であります。

医薬品事業では、化粧品や医薬部外品研究で培ってきた当社グループの研究成果を活用し、新規医薬品の開発・製造・販売及び医薬品の製造受託を行っております。当第2四半期連結会計累計期間は、重点領域である皮膚科領域にリソースを集中した継続的な活動に加え、グラクソ・スミスクライングループとのライセンス契約に基づく、尋常性ざ瘡治療配合剤「デュアック®配合ゲル」の販売や、爪白癬治療剤「ルコナック®爪外用液5%」の4月発売により、前年同期を上回る売上高となりました。一方営業利益は、二つの新薬の初期プロモーションにかかる追加費用投入により前年同期を下回る結果となりました。

ビルメンテナンス事業は、当社グループ会社を主な取引先とし、ビルの運営管理を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、継続した営業活動により受注を拡大し、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は6,096百万円（前年同期比17.3%増）、営業損失は335百万円（前年同期は営業利益72百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12,067百万円減少し、223,667百万円（前連結会計年度末比5.1%減）となりました。主な増減項目は、現金及び預金の減少5,741百万円、受取手形及び売掛金の減少2,731百万円、遊休資産の売却による土地の減少797百万円、為替の影響等によるのれんの減少1,835百万円並びに商標権の減少1,120百万円により減少しております。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ11,853百万円減少し、43,245百万円（前連結会計年度末比21.5%減）となりました。主な増減項目は、未払法人税等の減少2,399百万円、販売手数料未払金等の減少による流動負債「その他」の減少8,220百万円により減少しております。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ213百万円減少し、180,421百万円（前連結会計年度末比0.1%減）となりました。主な増減項目は、為替の影響による為替換算調整勘定の減少3,845百万円、剰余金の配当4,423百万円により減少し、一方で親会社株主に帰属する四半期純利益の計上8,264百万円により増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間のPOLAブランドの好調により、平成28年5月2日に発表しました公表数値より、
通期の連結業績予想を以下のように変更することといたしました。

平成28年12月期通期連結業績予想の修正（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 219,000	百万円 25,000	百万円 25,100	百万円 17,200	円 銭 311.10
今回修正予想（B）	223,000	26,000	25,300	17,200	311.10
増減額（B－A）	4,000	1,000	200	－	－
増減率（％）	1.8	4.0	0.8	－	－
（参考）前期実績 （平成27年12月期）	214,788	22,511	22,359	14,095	254.95

（参考情報）

前期累計期間実績

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	百万円 45,392	百万円 99,783	百万円 152,503	百万円 214,788
営業利益	2,909	9,239	15,247	22,511
経常利益	3,047	9,673	15,404	22,359
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,446	6,090	9,257	14,095

前期会計期間実績

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	百万円 45,392	百万円 54,390	百万円 52,719	百万円 62,285
営業利益	2,909	6,329	6,008	7,263
経常利益	3,047	6,626	5,730	6,955
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,446	3,644	3,167	4,837

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

[企業結合に関する会計基準等の適用]

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及
び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」とい
う。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動によ
る差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に
変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理
の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映さ
せる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示
の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度につ
いては、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時
点から将来にわたって適用しております。

当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

[有形固定資産の減価償却方法の変更]

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報
告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属
設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,451	41,709
受取手形及び売掛金	27,646	24,914
有価証券	16,700	15,400
商品及び製品	13,463	13,226
仕掛品	1,294	1,124
原材料及び貯蔵品	4,693	4,301
その他	8,928	8,603
貸倒引当金	△154	△176
流動資産合計	120,022	109,104
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,354	18,321
土地	19,135	18,337
その他(純額)	14,877	14,787
有形固定資産合計	53,367	51,446
無形固定資産		
のれん	11,894	10,059
商標権	8,983	7,862
その他	11,866	11,476
無形固定資産合計	32,745	29,398
投資その他の資産		
投資有価証券	21,447	25,582
その他	8,219	8,206
貸倒引当金	△67	△71
投資その他の資産合計	29,599	33,717
固定資産合計	115,711	114,562
資産合計	235,734	223,667

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,386	5,247
短期借入金	600	600
未払法人税等	5,523	3,123
賞与引当金	1,734	1,166
ポイント引当金	3,450	3,471
その他の引当金	390	174
その他	26,727	18,507
流動負債合計	43,812	32,290
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
その他の引当金	56	56
退職給付に係る負債	4,026	3,910
その他	6,202	5,986
固定負債合計	11,285	10,954
負債合計	55,098	43,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	90,722	90,722
利益剰余金	77,381	81,222
自己株式	△2,194	△2,194
株主資本合計	175,909	179,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	512	278
為替換算調整勘定	4,359	513
退職給付に係る調整累計額	△542	△527
その他の包括利益累計額合計	4,329	265
新株予約権	183	209
非支配株主持分	214	196
純資産合計	180,635	180,421
負債純資産合計	235,734	223,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	99,783	106,957
売上原価	19,140	20,121
売上総利益	80,643	86,836
販売費及び一般管理費		
販売手数料	22,714	23,215
販売促進費	10,052	11,939
広告宣伝費	3,693	4,078
給料手当及び賞与	11,287	10,750
賞与引当金繰入額	1,012	1,053
ポイント引当金繰入額	2,977	3,276
その他	19,665	20,371
販売費及び一般管理費合計	71,403	74,685
営業利益	9,239	12,150
営業外収益		
受取利息	141	126
受取配当金	5	7
為替差益	214	—
その他	163	96
営業外収益合計	525	229
営業外費用		
支払利息	44	34
為替差損	—	1,064
その他	46	22
営業外費用合計	91	1,121
経常利益	9,673	11,258
特別利益		
固定資産売却益	0	2,997
為替換算調整勘定取崩益	538	—
その他	6	25
特別利益合計	545	3,022
特別損失		
固定資産除却損	107	125
その他	11	33
特別損失合計	119	159
税金等調整前四半期純利益	10,100	14,121
法人税、住民税及び事業税	3,949	5,621
法人税等調整額	44	224
法人税等合計	3,994	5,846
四半期純利益	6,105	8,275
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,090	8,264

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	6,105	8,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136	△233
為替換算調整勘定	△1,609	△3,873
退職給付に係る調整額	10	14
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△1,462	△4,092
四半期包括利益	4,642	4,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,621	4,200
非支配株主に係る四半期包括利益	21	△17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	93,133	1,451	94,585	5,197	99,783	—	99,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43	237	281	1,000	1,282	△1,282	—
計	93,177	1,689	94,867	6,198	101,065	△1,282	99,783
セグメント利益	8,675	597	9,273	72	9,346	△106	9,239

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△106百万円には、セグメント間取引消去972百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,079百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	99,343	1,517	100,860	6,096	106,957	—	106,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46	353	400	1,228	1,628	△1,628	—
計	99,389	1,871	101,261	7,324	108,586	△1,628	106,957
セグメント利益又は 損失(△)	12,080	797	12,877	△335	12,542	△392	12,150

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△392百万円には、セグメント間取引消去1,030百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,422百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。